下関リハビリテーション病院 季刊誌

オレンジ

地域に寄り添い、地域と共に

Shimonoseki Rehabilitation Hospital

vol.38
2023.5
Spring

一の俣桜公園・蒼霧鯉池
（撮影者：総務課 金子 貴子）

基本理念　手には技術、頭には知識、患者様には愛を

CONTENTS

2P　看護部長紹介
　　2023年度 新入職員
3P　外来リハビリでの取り組み
4P　2022年度 当院の実績
5P　2022年度 生活期リハビリ実績
5P　下関市介護予防教室委託実績
6・7P　生活期リハビリアンケート
8P　医療連携室より

一般社団法人 巨樹の会
下関リハビリテーション病院

令和５年４月１日着任　看護部長紹介

看護部長
三澤 幸代（みさわ さちよ）

４月１日より、看護部長として就任いたしました三澤幸代と申します。私は、新卒でカマチグループに入職し、平成 24 年より関東のグループ回復期病院の立ち上げに参加させて頂きました。今回、転籍を機に山口県に引っ越してまいりました。病院勤務はなおのこと、生活するのも初めての地となります。また、下関リハビリテーション病院は、当グループの発祥の病院であり、就任にあたり身の引き締まる思いでいっぱいです。

当院は、主に脳卒中や骨折など急性期病院で治療を終えられた方に対して、集中的なリハビリテーションを提供する専門の病院です。その中でも脊椎損傷・パーキンソン病・心疾患と専門に特化した病床を有しております。患者さんが疾患・障害を持ちながらもより良い在宅生活や職場復帰ができるよう、入院時より多職種チームで１人１人の患者様・ご家族様に関わります。看護・介護職は、患者様が １ヶ月～ ３ヶ月～ ６ヶ月と経過を追っていく中で、少しずつ出来なかった事が出来るようになっていくことを一緒に喜び、患者様の持てる力を引き出せるような関りを心掛けております。

今後も患者さんの退院後の生活を見据え、より良い看護・介護を提供できるよう日々学びを深め、地域の皆様に選んでいただける下関リハビリテーション病院を目指し、頑張っていきたいと思っております。これからも、皆様からのご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

2023 年度 リハビリテーション科新入職員

理学療法士6名・作業療法士4名・言語聴覚士１名

入社式
令和５年4月3日

外来リハビリでの取り組み

理学療法室 副主任
遠山 明之介

当院の外来リハビリでは、職業や学校生活に復帰するためのリハビリを行うことが少なくありません。

復帰先の職場や学校の環境・状況を把握した上で、その**患者様に必要な身体能力をリハビリにて獲得し、社会へ復帰（「社会参加」）して頂くことが、外来リハビリを行う上での一つの役割**だと考えています。

当院外来リハビリでは、身体機能を高める訓練以外にも「社会参加」をテーマにリハビリに取り組んでいます。

「社会参加」を目標にしている患者様の リハビリ内容や経過をお話しします！

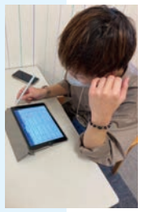
① 当院退院後、外来リハビリと就労支援を併用しながら、身体機能面の向上と同時に職業訓練を行う。

② 就労支援事業所とリハビリ担当スタッフと話し合いを行い、情報共有と今後の進め方について話し合いを行う。

③ ある程度リハビリが進んだところで、事業所から職業体験の実施。

④ 職業体験を経て得られた問題点を本人様とリハビリスタッフにて共有し、より専門的で実用的なリハビリを計画し実施する。

⑤ 就労支援事業所から様々な職業体験を提供して頂き、それに合わせリハビリの内容を調整・最適化し、より明確な目標を患者様と立てていく。



実際のリハビリ風景

単語の中から間違った”仲間はずれ”を選択し、理由を説明する課題をしました。

仕事中の会話でのやり取りなど、職場でも必要とされるコミュニケーション能力を鍛えます。

砂袋を使って、腕の筋力強化を兼ねた訓練を実施しました。

基礎体力強化も兼ねた、応用動作訓練を実施します。

更に重い物を持った状態での応用動作訓練を行います。

職場体験にて「段ボールを運ぶ際に落としてしまった」とのことだったため、段ボールを持って移動する訓練を行いました。

患者様の声

Q 「外来リハビリ」を利用してみていかがでしたか？

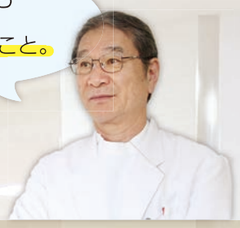
スタッフの感じがとても良く、リハビリが楽しい。筋力訓練で握力が強くなったり、言葉のリハビリでコミュニケーションがスムーズになったりと、目に見えて成果が出ていることが嬉しい。

自分らしさを再建する

その人らしく、いきいきした人生を送っていただくために、患者様と外来リハビリスタッフは今日も一生懸命リハビリに取り組みます！

2022 年度 当院の実績

目標はあくまでも
ご自宅に復帰すること。

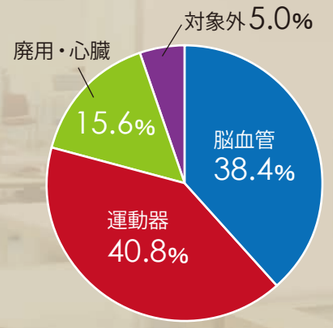


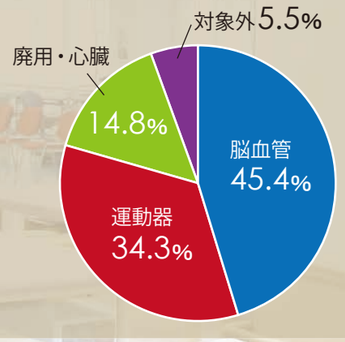
院長 林 研一

2022 年度
当院在宅復帰率 **84.5%**
全国平均 77.9%

入院患者疾患別

入院時疾患別

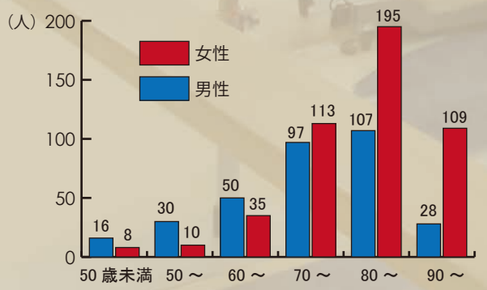




延べ疾患別

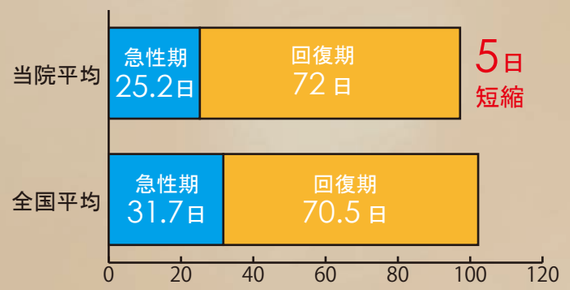
年齢・性別

平均年齢
78.4 歳
男性　74 歳
女性 81.5 歳



最高年齢
男性 96 歳
女性 99 歳

在院日数



5日 短縮

発症後できるだけ早期に受け入れ、
早期の在宅復帰を目指しています。

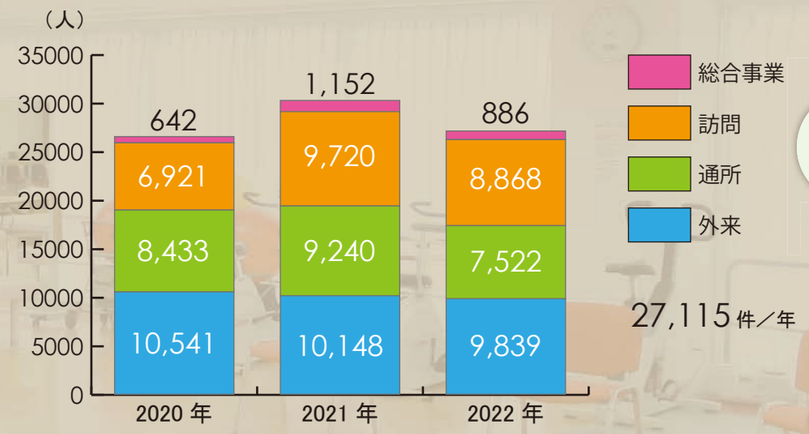
当院平均在院日数
合計：97.2 日
全国平均在院日数
合計：102.2 日

看護部長 三澤 幸代

※全国平均は「回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告」より

2022 年度 生活期リハビリ実績

外来・在宅部門 延べ患者数



27,115 件／年

退院後は 外来リハビリ、訪問リハビリ、通所リハビリ、そして総合事業と、アフターフォローも充実しています。

生活期リハビリテーション科 主任 林 修平

2022年度の報告 下関市主催の 介護予防教室 開催しました！

住み馴れた地域で暮らし続けるために、まず健康でいることが重要です！

下関市からの委託を受けて、
3種類の教室を7会場で行いました。

いきいき運動教室	西部公民館・彦島公民館 北部公民館・市民センター
フレイル予防教室	市民センター・勝山公民館 川中公民館
ウォーキング教室	市民センター・安岡公民館

参加人数（延べ）194 名

高齢者が介護を必要とする状態になることを予防し、生活をより豊かにするため、運動機能の向上、栄養改善、口腔機能の向上その他介護予防に役立つ普及・啓発を行う教室や講座が下関市主催で実施されています。当院は市の委託事業として、介護予防教室を開催しています。教室の内容は、ストレッチ体操、筋トレ、有酸素運動、脳トレ、健康講話、ノルディックウォーキングなどを行っています。各教室、週に 1 回の開催で 90 分の運動を提供しており、実施期間は 1 か月～3 か月程度です。

昨年度は『いきいき運動教室』を 5 教室、『フレイル予防（運動・栄養・口腔等）教室』を 3 教室、『ウォーキング（ノルディックウォーク等）教室』を 2 教室の計 10 教室を担当させて頂きました。

市内に住む65才以上の方を対象に募集し、参加していただきました！

参加者の声

- プログラムがしっかりしていて飽きずに続けられた。
- テレビを観ているときに軽い運動を取り入れるようになった。
- 考えながら運動や食事をとるようになった。
- 初めてのノルディックウォークに参加し歩く楽しさを改めて感じた。
- 生活にハリが出た。行動する機会が増えた。
- 身体が軽くなった。歩く時つまずかなくなった。

2023年度も開催します！

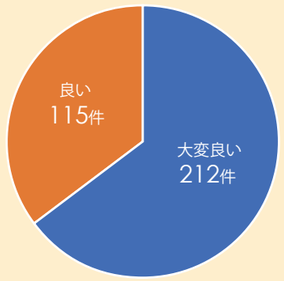
リハビリテーション科
理学療法室
副主任 坂梨 純子

生活期リハビリアンケート

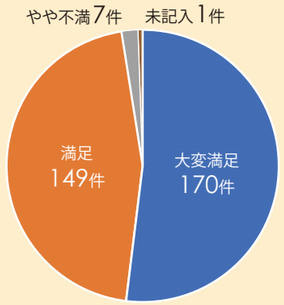
アンケートにご協力いただきありがとうございました

訪問リハビリ
アンケート実施 327 件

◆職員の対応はいかがでしたか？



◆訪問リハビリの効果はいかがでしたか？



利用者様の声

- 訪問リハビリ以後、ベッドからトイレまで自分で歩いて行くことが出来るようになりました。
- 毎回リハビリ後に、日常生活（行動）の注意点を指導していただき、助かります。
- 音楽を利用しての歩行訓練、いいアイデアですね。リズムにのって頑張ります。

こんな意見も…

意 時間が変更になることで、都合が悪い時があります。

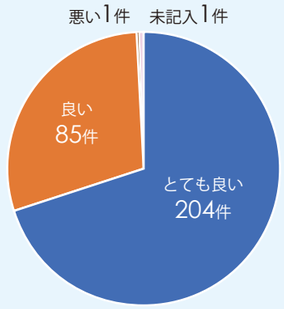
答 定期受診や担当者会議などの関係で、変更させて頂いております。原則、時間変更がないように努めていきたいと思いますので、今後共ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

意 過去に皆で出かけたと聞きました。地区別でも良いので、何人かが集まって新年会や花見などを行いたい。いつも一人なので年に１～２度そういう行動があれば楽しそう。目標にできると思う。

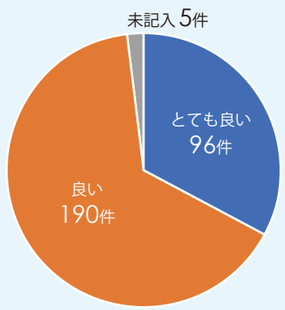
答 ５月以降に新型コロナウィルスが５類相当に格下げされます。市中感染状況にもよりますが、感染対策を十分にした上で、出来る行事を検討したいと思っています。その際は是非ご参加ください。皆で楽しみましょう。

外来リハビリ
アンケート実施 291 件

◆職員の対応はいかがでしたか？



◆リハビリの効果はいかがでしたか？



利用者様の声

- リハビリの時間を楽しみに通っています。特にその日の状態に応じて内容を工夫してご指導いただき、丁寧な説明と対応に感謝しております。何よりも笑顔で丁寧な言葉遣いや優しさに、心もリラックス出来ています。
- 自分の今までの人生で一番感謝の言葉をかける場所であったと思います。ありがとうございました。
- 前向きな気持ちになれたこと、ありがたく感謝しております。
- コロナ対策の下、きちんと対応していただいている上で、リハビリもしっかりと行ってもらっています。ありがとうございます。

こんな意見も…

意 機械よりマッサージの方が良いので、マッサージを多くしてもらいたい。

答 利用者様の目標に合わせたリハビリ計画を立てて実施しています。なるべく必要なリハビリを提供していますが、ご希望がありましたら、担当リハビリスタッフと相談して頂ければと思います。

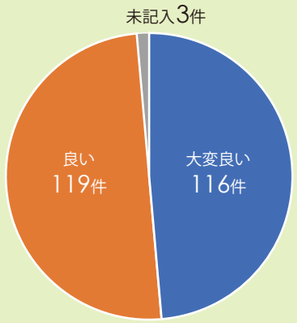
意 家庭での自主トレメニューがあれば嬉しい。

答 一人ひとりのご病気やお怪我に合わせた自主訓練メニューをご用意しています。ご意見を頂いた上で、きちんと提供できるように工夫してまいります。

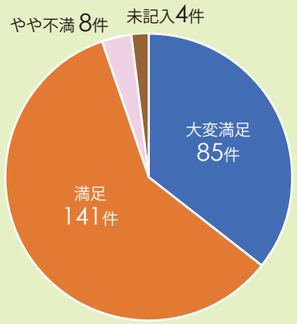
通所リハビリ
アンケート実施 238 件

ハンドベルで演奏しました♪

◆職員の対応はいかがでしたか？



◆通所リハビリの内容・効果はいかがでしたか？



利用者様の声

- おかげ様で本人がやる気を出してリハビリをしています。
- 趣味であるグランドゴルフの練習に行き始め、1日４ゲーム回ることができました。リハビリのおかげだと、家族全員喜んでいます。
- スタッフの皆さんがとても親切で、リハビリに来て運動をするのがとても楽しく、２時間があっという間に終わります。
- 運転手さんの気配りが細やかで安心して送り出せています。

こんな意見も…

意 マシーントレーニングについてはパワーアップして欲しい。

答 各種マシーンにおける最大負荷量でも物足りない方は、自主訓練の提案やスタッフとの個別訓練内にて対応させて頂きます。スタッフまでお申し付けください。

意 音楽が流れているが聞こえにくい。
好きな曲をリクエストしても良いでしょうか？

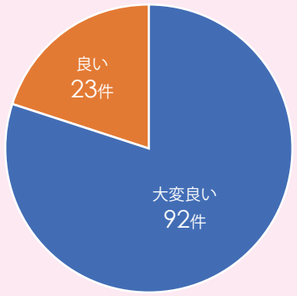
答 気持ちよくリハビリが出来るように、音量に配慮していきます。また、懐かしい曲や好きな曲など流して欲しい音楽がある方は、リクエストをお待ちしております。出来る限り対応いたします。

意 リハビリについて分かりやすく説明して欲しい。

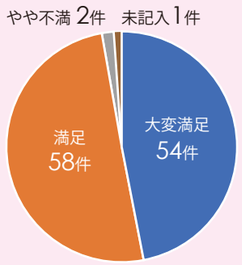
答 個別でのリハビリについては、都度担当スタッフに聞いて頂ければ分かりやすく説明させて頂きます。

総合事業
アンケート実施 115 件

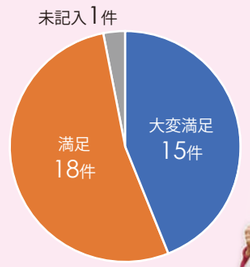
◆職員の対応はいかがでしたか？



◆運動内容はいかがでしたか？



◆脳トレ内容はいかがでしたか？



利用者様の声

- １週間に１回ですが、２回あったらいいな。来るのが楽しいです。
- ここに来て皆さんとお話しできるし、家にひきこもりにならず、一週間に１回ですが気分転換になり楽しいです。

こんな意見も…

意 運動内容、種類を増やして欲しい。

答 2023 年度中に新しい運動プログラムを導入できるよう、現在準備を進めています。ぜひ楽しみにお待ちください。

意 自分の体力と脳の衰えに、ついて行けないことがある。

答 半月に１回ではありますが、InBody 測定や心身機能評価を行っていきます。自身の体の変化に合わせて、運動の方法や負荷量など、ご提案させて頂いております。無理なく継続していく事が大切です。

医療連携室より

医療ソーシャルワーカー
主任 上野 純子

私たち、医療ソーシャルワーカーは、ご自宅に退院されてからどのように生活を送っていきたいか、ご本人・ご家族のご希望などをお聞きします。

ご本人の生活に合った地域の様々な制度や活動、社会参加の必要性をケアマネジャー等も交えて相談していきます。

ご本人の以前から持っている繋がりやできることに着目させていただき、あくまでもご本人自身が決定できるようにサポート・支援していきます。

リハビリテーションを行うためには、いろいろな方法や場所があり、今回は当院が行っている『外来リハビリテーション』『通所リハビリテーション』『訪問リハビリテーション』『介護予防・日常生活支援総合事業』を紹介させていただきます。

私が訪問リハビリテーションについて説明します

ご自宅に訪問し、心身の機能維持・回復、日常生活の自立の支援を行っています。ご自宅生活において日常生活の自立と社会参加を目的としています。

主に介護保険でのご利用となります。

医療ソーシャルワーカー
高田 七海

私が外来リハビリテーションについて説明します

医療ソーシャルワーカー
竹田 佳代

通院していただき、日常生活で不自由を感じている方、職場への復帰、自動車運転の再開を目指したい方などを対象にリハビリを提供しています。身体機能の回復や健康を目指すこと、住み慣れた地域で自分らしく生活することを目標にしています。医療保険でのご利用となります。

ご本人自身が決定できるように私たちがサポート・支援いたします！

私が介護予防・日常生活支援総合事業について説明します

短時間運動特化型のサービスです。利用は週１回まで、平日の午前・午後に１回90分の運動を行っています。送迎は行っておりません。

介護保険の要支援１・２や65歳以上で事業対象者が対象です。

医療ソーシャルワーカー
坪井 美桜

私が通所リハビリテーションについて説明します

医療ソーシャルワーカー
北村 恭平

ご自宅まで送迎を行い、短時間（２時間程度）のリハビリを提供しています。

歩行訓練や機械を使ったトレーニング、自主機能向上や社会参加などに向けて取り組んでいます。介護保険でのご利用となります。

３月に自宅退院された43名のうち、21名の方々に、当院の生活期リハビリにて引き続きリハビリを継続していただいています。（外来リハビリ13名・訪問リハビリ８名）

上記以外のことでも 何かお困りごとやご心配なことがございましたら、お気軽にMSWまでご相談下さい。

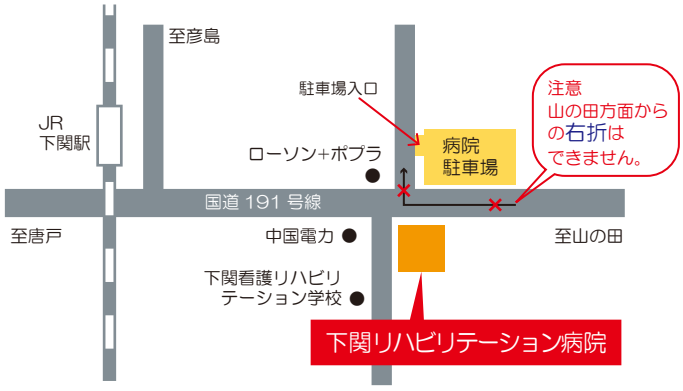
相談受付　TEL:083-232-5811　月曜日～土曜日（日曜・祝祭日のぞく）9:00～17:00　メールでのご相談:renkei@shimoreha.jp

表紙の写真 一の俣温泉に行ったついでに、足を延ばしてみました。癒し効果絶大でした！

一般社団法人 巨樹の会
下関リハビリテーション病院

〒750-0064　山口県下関市今浦町９番６号
TEL:083-232-5811　FAX:083-232-0219
URL:https://www.shimoreha.jp
Mail:info@shimoreha.jp

日本医療機能評価機構 認定第 JC2314 号

アクセス方法

●JR下関駅より徒歩５分
●サンデン交通竹崎バス停より徒歩１分